



福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡市博物館

冬のおとなミュージアム

超



現実



伝伊藤若冲・筆
(付喪神図)
江戸時代(部分)

ニレイ(ミャンマー)
(制限された事柄の関係性-2)
2010年(部分)

ツェン・クワンチ[曾広智](中国)
(遠征する自画像シリーズ:
ニューヨーク(自由の女神))
1979年(部分)

2016年12月 → 2017年3月

今年の「冬のおとなミュージアム」は、あなたを「現実を超えた世界」へご案内いたします。

それは、現実と虚構を『演じる写真』が創り出す、現実には存在しない世界であったり、日常の中の概念が具象化して『見えないものを見る』瞬間であったりします。

あなたの現実を超えた世界について、饒舌に語り出す、所蔵品たちの声に耳を傾けてみませんか。あなたの周りの現実、あなたの視覚や概念を密かに裏切っているかもしれません。

演じる写真

福岡アジア美術館(博多リバレイン)

アジアギャラリー

2017.1.2 | 月 | → 3.21 | 火 |

10:00 - 20:00 ※入室は閉館の30分前まで

水曜休館 ※祝・休日の場合閉館、翌平日休館

誰かに扮して、別の世界に生きてみる。現実と虚構のはざまには、一体どんな世界が見えるのでしょうか。本展では、美術作家自身が別の誰かに姿を変えて、写真の世界に登場する作品や、現実には存在しない世界を人工的に作り上げる演出写真など、アジアの写真作品、約30点を紹介します。

見えないものを見る

福岡市博物館(シーサイドももち)企画展示室1

2016.12.20 | 火 | → 2017.2.19 | 日 |

9:30 - 17:30 ※入室は閉館の30分前まで

月曜休館 ※祝・休日の場合閉館、翌平日休館

私たちが生きる現実世界では、日常の中の概念が具象化して、「見えないものを見る」瞬間があり、また、それを感じ取ることでの豊かさへとつながることが多くあります。先祖から脈々と伝えられてきた、この「形のないものを可視化すること」の意味を、約20件の絵画や民俗資料などを通して考えてみませんか。

☆☆☆☆☆ 関連プログラム ☆☆☆☆☆

★おでかけトーク

各館の展示会場内で、3館の学芸員がそろってギャラリートークを行います。

福岡アジア美術館 1月21日(土) 13:30 ~ 14:30

福岡市博物館 2月12日(日) 13:30 ~ 14:30

※事前申込み不要。ただし常設展観覧が必要

★あなたの知らないバスツアー 要事前申込

マイクロバスで3館をめぐり、企画展やミュージアムの魅力をSNSや口コミで発信してください。リニューアル休館中の福岡市美術館にも潜入できるかも!?

1月28日(土) 13:00 ~ 18:00(予定)

【定員】抽選で20名 ※参加無料

【応募方法】往復はがき(〒810-8620住所不要)、メール、FAXに住所、氏名、年齢、電話番号を記入して、1月6日(金)までに文化振興課「あなたの知らないバスツアー」係まで。

【問い合わせ・申込先】福岡市文化振興課 TEL 092-711-4665

FAX 092-733-5537 Mail bunka.EPB@city.fukuoka.lg.jp

詳細は「福岡ミュージアム情報(美術館、博物館等) Fukuoka Museum Info」(<http://f-museum.city.fukuoka.lg.jp/>)に掲載予定

観覧料(各館とも): 一般200(150)円、高大生150(100)円、中学生以下無料

※()内は20人以上の団体料金。 ※以下を提示していただくと観覧料は無料になります。

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳(左記の手帳を提示された方の介護者1人を含む)、特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証、福岡市発行のシルバー手帳、北九州市発行の年長者施設利用証、熊本市・鹿児島市民で65歳以上が確認できるもの

主催: 福岡市、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館

問合せ: 福岡市経済観光文化局文化振興課 TEL 092-711-4665

 福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1リバレインセンタービル7F・8F

TEL 092-263-1100 FAX 092-263-1105 <http://faam.city.fukuoka.lg.jp/>

 福岡市博物館
Fukuoka City Museum

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目1-1

TEL 092-845-5011 FAX 092-845-5019 <http://museum.city.fukuoka.jp/>

福岡市美術館 リニューアル 進行中!!

福岡市美術館はリニューアルでどう変わる？

- ◎前川國男氏の建築意匠はそのままに、大濠公園側から入るアプローチを新設します！
- ◎1階にカフェ、ミュージアムショップを新設します！
- ◎様々な展示に対応できるよう展示機能を向上させます！
- ◎情報コーナーやキッズスペースなど楽しい空間がひろがります！



リニューアル後の全景 (イメージ図)

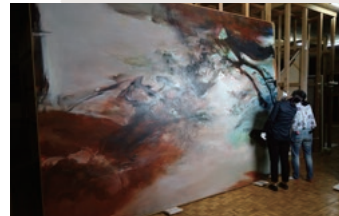
休館中も福岡市美術館の作品が見られる！

福岡市美術館は休館中ですが、下記の美術館・博物館、展覧会で作品を見ることができます。場所が変わると作品の違った一面に気づくかもしれません。ぜひご覧ください！

福岡市内・県内の美術館・博物館で作品が見られます。

◎福岡アジア美術館

「アニッシュ・カプーアとインドのカタチ」展(2017年1月2日(月)～5月9日(火))にて、当館の作品が展示されます。また、同館アジアギャラリーでも、ザオ・ウーキー《僕らはまだ二人だー10.3.74》(1974年)などの作品が順次展示されます。



ザオ・ウーキー《僕らはまだ二人だー10.3.74》の点検作業の様子

◎福岡市博物館

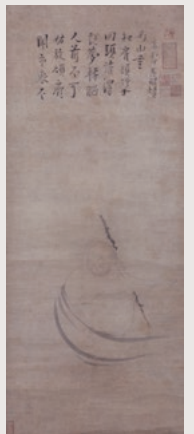
新年度から、同館と福岡市美術館の黒田家資料が、順次展示される予定です。

◎九州国立博物館

(〒818-0118 太宰府市石坂4-7-2)
<http://www.kyuhaku.jp/>
2017年1月より、当館所蔵の古美術作品が展示されます。

◎九州歴史資料館

(〒838-0106 小郡市三沢5208-3)
<http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>
当館所蔵の東光院仏教美術資料が展示される予定です。詳しい展示スケジュールについては、九州歴史資料館HPにてご確認ください。



伝・胡直夫筆《布袋圖》南宋時代13世紀
※九州国立博物館にて展示。期間1月17日～2月26日

福岡市美術館・北九州市立美術館所蔵名品展「夢の美術館ーめぐりあう名画たちー」

休館中の福岡市美術館と北九州市立美術館の所蔵品が、一緒に九州各地を巡ります。名品たちが奏でるハーモニーをぜひご堪能ください。

◎2016年12月20日(火)～2017年2月5日(日)

沖縄県立美術館(〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1) <http://www.museums.pref.okinawa.jp/art/>

◎2017年2月23日(木)～4月2日(日)

長崎県美術館(〒850-0862 長崎県長崎市出島町2-1) <https://www.nagasaki-museum.jp/>

その後、熊本県立美術館、久留米市美術館、宮崎県立美術館、島根県立美術館を巡回します。

福岡市美術館の 「どこでも美術館」が始まる！

福岡市美術館のアウトリーチ活動「どこでも美術館」が始動します！見て触れるさまざまなキットを持って、市内の小・中学校を中心に教育普及活動を行います。一般の方々が参加できる活動も「なみきスクエア」にて開催します。

「どこでも美術館」がやってきた！

2017年3月25日(土)10:30～15:00

なみきスクエア「ひまわりひろば」

(〒813-0044 福岡市東区千早4-21-45)

対象：小学生以下の子どもとその保護者

事前申込み不要

参加費無料

小さなお子様でも参加できるワークショップや、小学生向けに楽しく絵を見る活動などを行います。ぜひおいでください！



つきなみ講座もやっています！

福岡市美術館の職員が、自身の研究や興味、仕事について月に1回お話しする「つきなみ講座」。休館中も場所をかえて開催します。

「福岡市美術館の仏教美術ー仏画の表現ー」

2017年1月21日(土)

講師：錦織亮介(館長)

場所：福岡アジア美術館8階 あじびホール 定員：50名

「「どこでも美術館」で館外へ！ーリニューアル休館中の活動報告」

2月18日(土)

講師：崎田明香(学芸員)

場所：福岡アジア美術館8階 あじびホール 定員：50名

「ラファエル・コラン《海辺にて》の引越し大作戦」

3月18日(土)

講師：渡抜由季(学芸員)

場所：福岡市博物館2階 講座室2 定員：30名

いずれも15:00～16:00(受付は14:30～)。事前申込み不要。参加費無料。



2019年3月のリニューアルオープンを、皆さん、楽しみにおまちくださいね！